平成３１年度様式

事 業 報 告 書

1 支援団体名	NPO法人　アシスト・パル・オオイタ
2 事業名称	大分川ダムフラワー大作戦
3 実施日時	令和元年5月18日～令和元年11月9日（作業年7回・会議3回）
4 実施場所	大分県大分市野津原町下原
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況･内容） ダム建設と併せて私たちの作業は15年目突入。10月ダム完成。15年間延べ5715人達成。地元11団体、企業法人4、一般県民など元気に継続できたことは皆の誇りと生きがいに繋がったと言える。 5月19日　夏の事前作業（枯れ葉除去とのり面草切、整地作業） 5月25日　植栽作業（花苗/キンセンカ、パンジー、キンギョソウ、芋苗3種他、雑草予防シート張り） 7月27日　枯れ花摘み、花周辺草取り、植樹地、のり面下草刈り 9月14日　植栽地の草切（2回目）ダム周辺道路のゴミ拾い 10月26日　秋の事前作業　芋畑のり面の草切、植樹地のツル伐り 11月　9日　植栽作業（花苗12種、菜の花＆クローバー種、芋堀。整地、水やり、道路ゴミ拾い（芋は地元の幼保育園に寄付）
	（事業実施効果）ダム建設は凡そ半世紀で完成、当法人が関わったことで良かったことは地元11団体がダムを核に観光振興にベクトルを合わせられた事。里山は住む人がいて人の手が入ってこそ価値大である。11団体のリーダーも育成されたことから次世代引き継ぎも期待できる。ただダム湖周辺は地肌や崖がむき出しで景観を損ねて周辺環境の整備まで行き届かない状態、今後ダム湖周辺のみ植樹と育成を現団体で試みる。（ゴミも増加）
6 参加内訳	総人数　392名
	（1）主催者参加　43名
	（2）日本人参加（（1）を除く）　名
	（3）外国人参加（（1）を除く）　0名
7 今後の方針	・ダム完成で市ダム協議会の活動費終了。地元11団体と協議後地域振興のため「ダム湖周辺景観整備活動」に転換して新たにスタート予定。 ・持続可能社会　　ダム事務所が七瀬グループと過去桜植樹（数10本枯れて放置）その場所に新たに桜植樹を検討。土壌改良と7年生以上の苗木でないと根付かない為、御協会の支援金内でダム周辺の景観整備と維持を目指す。住民の生きがと次世代に自然資産の価値観を引き継ぐことが目的。

５月　花壇の花植え

５月雑草除けシート張り

５月草刈り

７月夏季草刈り

９月除草シートはがし

１０月秋季草刈り